

## CEATEC AWARD 2013総務大臣賞受賞

2013年10月1～5日に幕張メッセで開催されたCEATEC JAPAN 2013において、ドコモの「次世代移動通信 5G」は2013年10月1日、「CEATEC AWARD 2013 総務大臣賞」を受賞しました。「総務大臣賞」は、通信技術や放送技術を主要技術として、ネットワークを利用した経済活動の効率化や高付加価値化の促進に最も貢献する製品、技術、サービスまたはそれを支える部品・デバイスに対して贈られます。

受賞した「次世代移動通信 5G」(以下、5G)は、LTE-Advancedの次のネットワークとして、2020年以降の実用化をめざして検討を進めている通信方式です。2020年代には2010年の1,000倍以上と飛躍的な増加が想定されるトラフィック量においてもユーザに快適なサービスを提供するために、LTEの1,000倍以上の超大容量化と100倍以上の超高速通信を実現することをめざして、現在のLTE、2015年度導入を目標とするLTE-Advancedに続く新しい通信方式として研究開発を進めています。5GではLTE/LTE-Advancedネットワークのさらなる高度化に加え、現在使用されていない高い周波数帯を活用することで、広い周波数帯域での通信を可能とし、高速大容量通信を実現しま

す。ドコモでは、高い周波数帯を広帯域に利用することで高速伝送を実現するスモールセルと、低い周波数帯を利用して安定した通信の維持を行うマクロセルを組み合わせたアーキテクチャのコンセプトや、多数のアンテナ素子を活用した送信技術により低い周波数帯に加えて高い周波数帯を有効利用する伝送技術を中心に研究開発を進めています。このような技術の総合力とアーキテクチャの独創性、通信トラフィックの増加に対するソリューションの付加価値が評価され受賞に至りました。CEATEC JAPAN 2013では、5Gの実現に向けてドコモが考える要素技術の動作、性能をリアルタイムに把握できるシミュレータを展示しました。

